

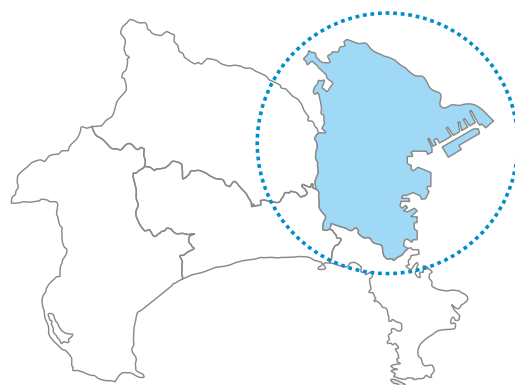
川崎・横浜地域圏

人口 4,953,377 人
面積 580.08 km²

川崎・横浜地域は、首都東京に隣接し、県全体の5割を超える人口を擁しており、交通利便性が高く、高度な都市機能が集積した我が国を代表する世界との窓口として、国際性に富んだ活力ある地域です。

また、臨海部から内陸部にかけては、我が国を代表するものづくり産業や、情報通信などの高度先端産業の生産拠点や研究開発拠点が形成されています。

一方で、多摩川や鶴見川流域の自然空間や東京湾岸の水辺空間、多摩丘陵の緑地など水とみどりの連続する魅力ある自然も有しています。



川崎・横浜の各市域

現状と課題

1 世界との窓口としての機能強化

羽田空港の再拡張・国際化が2010年に予定されているほか、国際港湾の機能の強化が図られるなど、引き続き、我が国における世界との窓口としての役割を果たしていくため、都市拠点や交通網の整備を促進し、活力と魅力あふれる地域づくりを進めていく必要があります。

羽田空港の再拡張・国際化の神奈川への効果

県内各地から上海が日帰り圏に

※ 時刻表を基にした各都市～成田空港間所要時間と各都市～羽田空港間の所要時間。乗換時間は考慮せず。

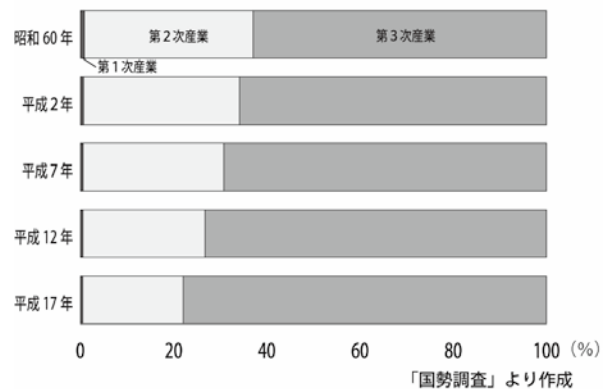


2 産業構造の転換と新たな産業の創出・育成

近年、産業構造の転換や経済活動のグローバル化が進展していることから、エネルギー産業など既存産業の高度化を図るとともに、成長が期待される新たな産業を創出・育成することなどにより、国際競争力の高い産業拠点の形成を進めていく必要があります。

また、地域の魅力である国際性豊かな歴史や文化を生かした地域づくりや、観光や文化芸術の振興を図る必要があります。

産業別就業者割合の推移 (川崎・横浜地域圏)



3 大都市の特性に応じた防災・防犯対策の強化

人口や様々な都市機能が集積しており、今後も人口の増加が見込まれますが、エネルギー産業の大規模な拠点でもあるなどの地域の特性に応じて、災害時の被害を最小限に抑えるまちづくりを進める必要があります。

また、多様な人々が流入する大都市地域の特性を踏まえた防犯体制を構築する必要があります。

今後発生が予測される地震の被害想定 (川崎・横浜地域圏)

	建物被害 (棟)	火災消失 (棟)	死傷者数 (人)	避難者数 (人)
東海地震	25,350	0	3,480	13,900
南関東地震	255,600	84,000	22,960	560,000
県西部地震	0	0	330	0
県東部地震	221,000	79,000	16,010	490,000

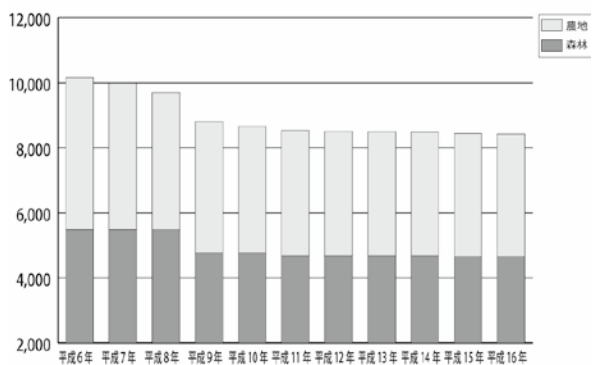
「神奈川県地震被害想定調査報告書」より作成
※数値は概数

4 自然環境の保全・創造

都市化の進展により、貴重なみどりの空間が失われていく傾向にあることから、みどりなどの自然環境を都市の貴重な資源・財産として保全、創造していく必要があります。

また、特定外来生物による農業など人間生活への被害やシャコ、マコガレイなどの重要水産資源の減少に対応するため、野生鳥獣の保護管理や漁場環境の改善を図る必要があります。

農地、森林の面積の推移 (川崎・横浜地域圏)



「神奈川県国土利用計画 (第三次) 土地統計資料」より作成

めざすすがた

世界と、神奈川そして日本の交流・結節地域として、これまでの文化や産業の集積を生かした生活環境や生産環境の整備を進め、良好な環境が保全され、にぎわいや活力があふれ、世界とつながる文化や産業を発信し、国際性豊かで魅力ある地域づくりをめざします。

施策の体系表

大柱	小柱	主要施策
1 国内外の人々が交流し、活力と魅力あふれる地域づくり	(1) 羽田空港の再拡張・国際化の推進と新たな都市拠点の形成	728 羽田空港の再拡張・国際化と神奈川口構想*の推進
		712 自動車専用道路網の整備
		710 鉄道網の整備促進
	(3) 効率的で良好な市街地形成	730 京浜臨海部における道路・鉄道の整備促進
		722 既成市街地の再整備による都市機能の更新
		723 良質な都市型住宅の供給と住環境の整備
2 地域産業の活性化と国際的な拠点づくり	(1) 産業の活性化と高度産業技術を生かした産業活力の向上	729 京浜臨海部における産業の活性化
		139 企業や個人のニーズに対応した職業能力開発の推進
		120 都市型地域産業の振興
		114 企業誘致の促進
		105 産学公連携による技術支援
		107 神奈川R&Dネットワーク構想の本格的展開
	(2) 歴史、観光・文化資源を生かした国際的な拠点づくり	121 かながわツーリズム*の推進
		731 神奈川開港・開国150周年メモリアルイベントの実施
		524 文化芸術を振興する施設の整備・充実
		527 「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録の推進と活用
3 安全で安心してくらするまちづくり	(1) 安全なまちづくり	323 石油コンビナートなどの防災対策の推進
		333 災害時広域応援体制の強化
		312 警察施設・装備の整備
	(2) 自然災害への対策	326 治水対策の推進
		328 土砂災害防止施設などの整備
4 都市の自然環境の保全と創造	(1) 残された貴重な自然、みどりの保全と創造	624 都市と里山のみどりの保全と活用
		707 都市公園などの整備
		705 ひとや自然にやさしい水辺づくり
	(2) 農林水産業の環境改善につながる生態系の保全と回復	625 野生鳥獣の保護管理の推進
		134 環境に調和する農林水産業の推進
		125 地産地消*の推進

1 国内外の人々が交流し、活力と魅力あふれる地域づくり

(1) 羽田空港の再拡張・国際化の推進と新たな都市拠点の形成

- 神奈川や首都圏の利用者にとって望ましい羽田空港の再拡張・国際化の実現に向け、再拡張事業の資金協力を行うとともに、羽田空港の国際線機能の充実を国へ働きかけます。
- 神奈川口のグランドデザインを策定し、交流・賑わい機能、研究開発機能、高度物流機能を備えた国際空港の玄関口にふさわしいまちづくりを進めるとともに、東京側と神奈川側を結ぶ新たな連絡道路の整備を促進するなど、羽田空港の再拡張・国際化の効果を県全体の活性化につなげるための「神奈川口構想*」の実現に向けた取組みを積極的に推進します。

(主要施策 728 羽田空港の再拡張・国際化と神奈川口構想の推進)

(2) 総合的な交通ネットワークの形成

- 川崎縦貫道路(Ⅰ期のうち殿町～大師区間)や高速横浜環状南線など、県土構造の骨格となる自動車専用道路網の整備を促進します。
- 神奈川東部方面線の整備を促進するとともに、横浜市営地下鉄の整備を支援します。
- 東海道貨物支線の貨客併用化や川崎アプローチ線(仮称)など、京浜臨海部の鉄道の実現化に向けた調査・検討を実施します。

(主要施策 712 自動車専用道路網の整備)

(主要施策 710 鉄道網の整備促進)

(主要施策 710 鉄道網の整備促進)

(主要施策 730 京浜臨海部における道路・鉄道の整備促進)

(3) 効率的で良好な市街地形成

- 上大岡C南、鶴見駅東口、武蔵小杉駅南口地区などの市街地再開発事業や、花咲町1丁目、戸手4丁目地区などの優良建築物等整備事業を促進することにより、安全で快適な都市環境の形成を図ります。

(主要施策 722 既成市街地の再整備による都市機能の更新)

(主要施策 723 良質な都市型住宅の供給と住環境の整備)

2 地域産業の活性化と国際的な拠点づくり

(1) 産業の活性化と高度産業技術を生かした産業活力の向上

- 羽田空港の再拡張・国際化に対応した臨空産業の集積を促進するための調査研究や企業誘致などをめざした情報発信を行います。
- 「かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会」と連携し、事業化プロジェクトの立ち上げなどロボット関連企業の掘り起こしやマーケットの創出・拡大などに向けた取組みを推進します。
- ゲノム*・バイオ*関連産業の活性化を促進するため、理化学研究所などへの支援を行うとともに、理化学研究所などと県試験研究機関との連携を強化し、バイオを基盤的技術として県民生活に貢献する新たな研究活動の促進や、人材の育成などを図ります。
- 京浜臨海部におけるエネルギー産業の高度統合化などにより、エココンビナート^注の形成をめざすとともに、エコ産業の創出に向けた民間企業の取組みを支援します。

(主要施策 729 京浜臨海部における産業の活性化)

- 訓練分野を特化した専門校として配置している県立の高等職業技術校を統合し、本県における職業能力開発の拠点として、新しい総合型の職業技術校を県内に2校整備します。その1校である東部総合職業技術校を、平成20年度に横浜市鶴見区に開校する予定です。

(主要施策 139 企業や個人のニーズに対応した職業能力開発の推進)

- 横浜繊維など地域の風土、歴史などに根づいたかながわらしい都市型地域産業の振興方策について、産地組合、商工関係団体、市、県などの関係機関が連携して協議し、地域のニーズを踏まえた商品開発、販路開拓、観光との連携などに取り組みます。

(主要施策 120 都市型地域産業の振興)

- 地域の産業力の強化のため、「インベスト神奈川*」の取組みを地元市と連携しながら積極的に展開するとともに、産学公連携のためにネットワークの構築に取り組み、企業、大学と産業技術センターとの連携による研究開発や研究者・技術者の交流により域内中小企業の技術革新を促進します。

(主要施策 114 企業誘致の促進)

(主要施策 105 産学公連携による技術支援)

(主要施策 107 神奈川 R&D ネットワーク構想の本格的展開)

(2) 歴史、観光・文化資源を生かした国際的な拠点づくり

- 横浜開港150周年(2009年・平成21年)や、2010年に予定されている羽田空港の再拡張・国際化に向けて、国、市、民間事業者などと連携した観光キャンペーンなどの取組みを進め、国内外から観光客の誘致を図ります。

(主要施策 121 かながわツーリズム*の推進)

- 横浜開港150周年(2009年・平成21年)を迎えるに当たり、神奈川開港・開国の観点から記念事業を実施します。また、横浜開港150周年記念事業を実施する財団法人横浜開港150周年協会に対して支援を行います。

(主要施策 731 神奈川開港・開国150周年メモリアルイベントの実施)

注 企業間で連携してコンビナート内のエネルギーや資源の有効利用をはかる取組み。

- 横浜山下町地区に高度な舞台機能を備えた県立新ホールを整備し、優れた文化芸術の創造発信を行うとともに、まちの賑わいの創出を図ります。また、県民ホールや県立音楽堂の再整備を進め、文化芸術を振興する施設の充実を図ります。

(主要施策 524 文化芸術を振興する施設の整備・充実)

- 「武家の古都・鎌倉」の世界文化遺産登録に向けて、横浜市、鎌倉市、逗子市が進めている登録候補資産の史跡の整備を支援し、世界遺産の保全を有効に行っていくしくみづくりを検討します。また、三市などと共同の講演会、シンポジウム、フォーラムを開催するなど、世界遺産登録推進事業を通じた文化財全般の普及啓発などに取り組みます。

(主要施策 527 「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録の推進と活用)

3 安全で安心してくらするまちづくり

(1)安全なまちづくり

- 災害発生時における応急対応体制の整備など石油コンビナート等特別防災区域における災害対策を推進するとともに、高圧ガスなどの事故防止のための事業者への支援などを進めます。

(主要施策 323 石油コンビナートなどの防災対策の推進)

- 国が川崎市東扇島地区で整備を進めている基幹的広域防災拠点^{注1}について、国と八都京市で構成する「首都圏広域防災拠点整備協議会」に参画するとともに、県の防災活動拠点と連携した運用方法などを検討・調整し、応急対応能力の向上を図ります。

(主要施策 333 災害時広域応援体制の強化)

- 老朽及び狭隘となった中原警察署、港北警察署及び金沢警察署の建て替えを行い、複雑・多様化する警察事象に迅速・的確に対応します。

(主要施策 312 警察施設・装備の整備)

(2)自然災害への対策

- 都市河川*の柏尾川の河床掘削^{注2}や鶴見川の川和遊水地*などの整備を行い、浸水被害の防止のための治水対策を進めます。

(主要施策 326 治水対策の推進)

- 土砂災害を未然に防止するため、野川、岡村1丁目などにおいて急傾斜地崩壊防止施設*等の整備を進めるとともに、土砂災害警戒区域*等の指定を推進します。

(主要施策 328 土砂災害防止施設などの整備)

注1 首都圏の防災力向上のため、国が、東京湾臨海部東京都有明の丘地区と川崎市東扇島地区に整備を進めている施設。東扇島地区の施設は、海外からの救援物資をはじめとした物流に関するコントロールなどの機能を担うとともに、海上輸送、河川輸送、陸上輸送などのための中継基地や広域支援部隊などの一次集結地・ベースキャンプとして機能し、また、平常時は、防災についても意識しつつ、人々の魅力的ないこいの場として利用。

注2 河川の流路に土砂がたまり、出水時に流水が流れにくくなることを防止するため、川底の土砂を掘り、適切な流下能力を確保すること。

4 都市の自然環境の保全と創造

(1) 残された貴重な自然、みどりの保全と創造

- 川崎市野川地区において、県民と行政との協働による里地里山の保全活動を実施します。
(主要施策 624 都市と里山のみどりの保全と活用)
- 保土ヶ谷公園、境川遊水地*公園等の整備などにより、公園、緑地空間の保全・活用を進めます。
(主要施策 707 都市公園などの整備)
- 平瀬川支川、和泉川などの多自然護岸の整備を行い、多様な生物の生育環境を大切にしながら、ひとや自然にやさしい水辺づくりを進めます。
(主要施策 705 ひとや自然にやさしい水辺づくり)

(2) 農林水産業の環境改善につながる生態系の保全と回復

- 特定外来生物であるアライグマなどによる農業など人間生活への被害軽減・解消と生態系の維持のため、防除実施計画に基づき捕獲や被害予防対策などを実施します。
(主要施策 625 野生鳥獣の保護管理の推進)
- 水質の浄化機能を有し、魚の産卵・育成場となるアマモ場*を横浜市金沢区、神奈川区などで造成するなど、漁場環境の改善に向けた取組みを、漁業者やNPO*などとの協働・連携により実施します。
(主要施策 134 環境に調和する農林水産業の推進)
- 東京湾において漁業者が主体となって実施するシャコ・マコガレイなどの重要水産資源の回復に向けた対策を支援します。また、県民へ新鮮で安全・安心な農産物の安定的な供給を目指すため、農産物の大型直売センターの整備を支援します。
(主要施策 125 地産地消*の推進)

この地域におけるその他の分野の主な取組み

- 通学に長時間を要する横浜南部地域に金沢養護学校を開校します。
(主要施策 433 特別支援学校*の整備などによる学習機会の確保)
- 住み慣れた地域で質の高いがん医療を安心して受けられる体制づくりを進めるため、がん医療の中核機関としての県立がんセンターの機能強化に向けて、総合整備に取り組みます。さらにこの整備に合わせて、重粒子線治療装置^注の導入を図ります。
(主要施策 222 がん医療体制の整備)
- 自殺との関連が指摘されているうつ病患者を対象とするストレスケア医療を充実するため、精神医療センターにおいてストレスケア病棟を整備します。
(主要施策 232 県立病院の機能整備)

注 がん細胞に集中して放射線(炭素の原子核を用いた重粒子線)を照射し、他の正常細胞への影響を最小限にとどめることができる、最新のがん治療装置のこと。

政令指定都市の市域における県行政の展開

川崎・横浜地域圏は、川崎市・横浜市という2つの政令指定都市から構成されているため、県民の皆さんの暮らしに直結する業務など行政サービスの多くは市が直接行っていますが、暮らしの安全やまちづくり、教育、医療などの分野で、県も様々な役割を担っています。

暮らしの安全

警察署や交番など、県民の安全を守るための施設を整備し、県民に不安を与える犯罪の抑止・検挙活動や繁華街・歓楽街対策、防犯対策の強化などを推進しています。

また、防犯意識の向上を図るための防犯教室を開催したり、「くらし安全指導員」として、交通安全指導や防犯指導などを行う指導員を配置しています。

	川崎市域	横浜市域
警察署数	8 箇所	21 箇所
交番・駐在所数	72 箇所	233 箇所 (警備派出所 1 箇所を含む)
くらし安全指導員(生活安全)の活動回数(平成16年~18年度)	2,018 回	4,733 回



防犯キャラバン隊の活動

まちづくり

一級河川の指定区間と二級河川について、大雨に対する安全性を高めながら、県民の憩いの場となるような水辺空間の整備を進めています。

また、土砂災害から人家を守るための急傾斜地崩壊防止施設*や、県民のレクリエーションや自然環境に親しむ場として県立都市公園の整備を実施しているほか、県営住宅などの整備も行っています。



県立東高根森林公園(川崎市)

	川崎市域	横浜市域
県の管理する河川	一級河川 9河川	一級河川 6河川 二級河川 24河川
急傾斜地崩壊危険区域指定箇所数(平成19年3月31日)	83 箇所	600 箇所
県立都市公園	東高根森林公園 面積 10.8ha	保土ヶ谷公園、三ツ池公園、 四季の森公園 合計面積 109.7ha
県営住宅管理戸数(平成19年4月1日)	4,105 戸	17,848 戸

教育

県立の教育施設として、高等学校や養護学校などを設置しており、川崎市内には17校、横浜市内には59校の県立学校があります。

また、小・中学校などの政令指定都市が設置する学校の教職員は、県費負担教職員として、県が給与を負担しています。

	川崎市域	横浜市域
県立学校数	高等学校 14校 特別支援学校 3校	高等学校 49校 特別支援学校 7校 専修学校 2校 短期大学 1校
県費負担教職員数(平成18年5月1日)	5,423 人	15,208 人



県立麻生養護学校(川崎市)

医療

誰もが必要なときに身近なところで適切な保健医療サービスを受けられるよう、救命救急センターやがん診療連携拠点病院などを指定して支援しています。



県立がんセンター

	川崎市域	横浜市域
救命救急センター指定病院数	3病院	4病院
がん診療連携拠点病院指定数	2病院	3病院

このほか、労働センターでの労働相談等を実施しているほか、農業技術センター横浜川崎地区事務所での農業の経営技術指導なども、県が実施しています。



- 【凡 例】
- 事業箇所・内容
 - 道路等整備
 - 計画路線
 - 道路
 - 鉄道

* 県が今後4年間に実施する主な事業の実施箇所を示しています。

地域図に記載した事業実施箇所

主要施策 125 地産地消*の推進

- ・重要水産資源(シャコ・マコガレイ)の回復(東京湾)
- ・大型直売センターの整備(川崎市麻生区)

主要施策 134 環境に調和する農林水産業の推進

- ・アマモ場*の造成(横浜市金沢区、神奈川区)

主要施策 139 企業や個人のニーズに対応した職業能力開発の推進

- ・東部総合職業技術校の整備

主要施策 222 がん医療体制の整備

- ・県立がんセンターの機能強化に向けた総合整備

主要施策 232 県立病院の機能整備

- ・精神医療センターのストレスケア病棟整備

主要施策 312 警察施設・装備の整備

- ・中原警察署、港北警察署、金沢警察署の建て替え

主要施策 326 治水対策の推進

- ・多摩川、鶴見川の整備などへの支援
- ・鶴見川の川和遊水地*整備、境川の多自然護岸整備、柏尾川の河床掘削など

主要施策 328 土砂災害防止施設などの整備

- ・急傾斜地崩壊防止施設*の整備(野川南耕地B地区、岡村1丁目南地区など)

主要施策 333 災害時広域応援体制の強化

- ・基幹的広域防災拠点の整備促進(川崎市東扇島地区)

主要施策 433 特別支援学校*の整備などによる学習機会の確保

- ・金沢養護学校の整備

主要施策 524 文化芸術を振興する施設の整備・充実

- ・県立新ホールの整備

主要施策 527 「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録の推進と活用

- ・「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録推進事業エリア(称名寺境内、朝夷奈切通)

主要施策 624 都市と里山のみどりの保全と活用

- ・里地里山の保全(川崎市野川地区)

主要施策 705 ひとや自然にやさしい水辺づくり

- ・平瀬川支川、和泉川などの多自然護岸の整備

主要施策 707 都市公園などの整備

- ・県立都市公園などの整備(四季の森公園、三ツ池公園、保土ヶ谷公園など)
- ・河川事業との連携による県立都市公園の整備(境川遊水地公園)

主要施策 710 鉄道網の整備促進

- ・整備への支援(横浜市営地下鉄4号線、神奈川東部方面線など)
- ・整備の促進(東海道貨物支線貨客併用化、川崎アプローチ線(仮称))

主要施策 712 自動車専用道路網の整備

- ・川崎縦貫道路(I期)、高速横浜環状南線、高速横浜環状北線、横浜湘南道路の整備、高速横浜環状北西線計画の促進

主要施策 722 既存市街地の再整備による都市機能の更新

- ・市街地再開発の促進(北仲通南地区、鶴見駅東口地区、長津田駅北口地区、上大岡C南地区、鶴ヶ峰駅南口地区、高島2丁目地区、武蔵小杉駅南口地区など)
- ・優良建築物の整備促進(花咲町1丁目地区、戸手4丁目地区など)

主要施策 725 的確な公的住宅の整備

- ・公的賃貸住宅の的確な整備(県営平間団地、県営古市場アパート、県営六浦団地)
- ・新たな手法による公営住宅整備の展開(県営阿久和団地)

主要施策 728 羽田空港の再拡張・国際化と神奈川口構想*の推進

- ・羽田空港への連絡路の整備促進
- ・川崎殿町・大師河原地域の整備